

平成26年度 学校自己評価システムシート (県立深谷高等学校)

目指す学校像	学力の向上、部活動の振興に重点を置き、地域から信頼される進学校を目指す。 文武両道の精神に基づく心豊かな生徒を育成する。
--------	---

重点目標	1 確かな学力を身につけさせ、志の高い生徒を育成する。 2 一人一人の個性を伸ばし、進路希望を実現させる。 3 規律ある態度を身につけさせ、他者を尊重する心を育成する。 4 部活動・学校行事を活性化し、活力のある学校にする。 5 地域との連携を強化し、信頼される開かれた学校にする。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8 割以上)
	B	概ね達成 (6 割以上)
	C	変化の兆し (4 割以上)
	D	不十分 (4 割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6 名
	生徒	3 名
	事務局 (教職員)	5 名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目 (年度達成目標を意味する。) は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価						
年度目標				年度評価 (2月5日 現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	・生徒の学力と学習意欲の幅を考慮し、個々に対応した丁寧な指導を行う必要がある。	・学力向上と授業改善に取り組む。	①基礎学力定着と大学進学に向けた高度な学力の育成のために習熟度別授業や特進クラス授業を実施し、個に対応した授業を実践する。 ②公開授業及び、教員間の授業公開期間を設定するとともに、協調学習やICTを利用した授業の研修を進める。 ③地元の大学と高大連携を推進し、新しい連携事業を展開する。出前授業や大学での実習等により生徒の興味・関心を喚起する。	①成績優良者数の増加と成績不振者数の減少 ②職員研修、授業公開の実施状況 ③大学による出前授業、大学での実習の状況	2年連続増加していた成績優良者数が減少した。②、③の指標は概ね達成。 ①成績優良者数が前年より約10%減少し、不振者数はほぼ横ばいであった。 ②5/26 から4週間の授業公開週間を設け、教員相互の授業観察を実施した。協調学習やICTを利用した授業の研修を進めた。 ③新しい高大連携Future Developing Program を実施し、大学での実習等を行い大きな成果があった。	B ・生徒の「学ぶ」意欲を醸成するために、多くの刺激を与える一方、学力の定着や生徒間の学力の幅を考慮し、引き続き個に対応した指導を実践する必要がある。 ・成績優良者数を増加させるとともに、不振者を減少させる必要がある。 ・高大連携事業を継続する。
2	・指定校推薦及びAO入試等への対応とともに、一般入試にも対応できる実力を養成する必要がある。	・生徒の進路希望実現に向けた計画的な進路指導を実践する。	①特進クラスのニーズを把握するために生徒との意見交換会を実施し、柔軟な運営を行う。 ②土曜補習の充実、外部模擬試験の実施により意識を向上させる。 ③企業の求人開拓を積極的に行い、就職希望者全員の内定を目指す。	①特進クラスの運営改善状況と進路状況 ②土曜補習への参加率 ③就職希望者の内定状況	取組状況は次の通りである。 ①教育課程、補習の方法等を見直し、特進クラス希望者が倍増した。特進クラスの進路状況は昨年度と大きな変化はなかった。 ②土曜補習参加率は約73%であった。 ③9月時点の就職希望者は100%内定した。	A ・特進クラスの効果的な運営方法について、特に補習のあり方を検討していく。 ・進学補習や、地域のサポートステーションと連携した面接指導等を実施し、引き続き生徒の進路実現を目指した教育活動を計画的に実施する。
3	・交通安全指導を含め、社会生活に関するルールやマナーを、家庭と連携し継続的に指導する必要がある。	・社会規範や安全等に関する指導を徹底し、他者を尊重する心を育成する。	①保護者と連携した交通指導等を実施する。 ②外部機関と連携し、「いじめ」「非行」防止教室を実施するとともに、インターネット等の危機意識、倫理意識を醸成し他者と協調する心を育成する。 ③登下校時の事故防止及び不審者対策からスクールバス事業を推進する。	①交通安全指導における保護者の参加状況 ②外部講師活用状況、及び人権教育への取組状況 ③スクールバスの利用状況	多方面と連携した取組により社会規範、危機意識の醸成を目指した。 ①PTA 生徒指導委員会参加による校外交通指導を10月及び1月に実施。 ②外部講師によるSNSの危険性に係る講話、「いじめ」「非行防止教室」等を実施した。「いじめ」に対しては「いじめ防止生徒会宣言」を行った。 ③スクールバスについては、長期定期券制度を導入し利便性を向上させたが、「貸し切りバス運賃制度」の改定により、運行は本年度までとした。	B ・SNS 利用上の倫理観・危機管理意識の醸成に引き続き取り組む。 ・いじめ防止に対しては、在り方・生き方教育、人権教育、生徒会活動、外部講話等、色々な機会を通して総合的に推進する。
4	・多くの部活動が活発に活動している。今年度は学校施設工事中に活動が維持できるように環境整備を行う必要がある。 ・地域と連携した部活動支援体制及び広報の体制を整える必要がある。 ・生徒会活動を中心として生徒が各行事に主体的に取り組み成果をあげている。	・部活動の支援体制の充実に取り組み、地域との交流活動を促進する。	①長期休業中の施設整備事業に係り、活動場所を確保するとともに地域、学校、保護者が連携し支援体制を充実する。 ②外部指導者を積極的に取り入れ部活動を充実させる。 ③部活動や生徒会活動における地域との交流を促進する。	①活動場所の確保及び活動支援の状況及び関東大会、全国大会への出場 ②外部指導者の活用状況 ③地域との交流状況	生徒の自己実現のために地域と連携した支援を行った。 ①外部の公共機関等を利用し活動場所を確保するとともに、地域と連携した支援を行った。ラグビー部が全国大会、関東大会に出場した。 ②外部指導者活用事業及びインターシップ事業、また地域のボランティアの方の支援により部活動指導体制が充実した。 ③陸上部が地元小学校、吹奏楽部が地域の公民館と交流事業を行った。	A ・地域と積極的に連携・交流することにより生徒の自己実現を支援していく。 ・校内の力だけでなく、外部指導者を積極的に活用する。
5	・学校説明会や授業公開等での保護者や地域の人々の来校者をさらに増やす工夫が必要である。 ・学校の教育活動を積極的に発信し、様々な広報活動を通じて、それを生徒募集に活かす必要がある。	・教育活動の情報発信を充実する。	①授業公開や学校説明会等の回数を増加するとともに内容を充実させる。 ②学校ホームページを積極的に更新するとともに、「ふかこう通信」等を利用して地域への情報発信を行う。 ③中学校訪問を拡大・充実し、中学との連携体制を発展させ、さらに信頼される学校づくりを行う。	①授業公開及び説明会等の実施回数及び来校者数の増加 ②ホームページ更新回数の増加及び学校通信を利用した地域への情報発信状況 ③中学校訪問状況と本校志望生徒数の増加	積極的な情報発信等により12月時点での本校希望者が3年連続増加した。 ①学校説明会は、回数を増加させ1月に2度目の個別面談を導入した。 ②ホームページ更新による情報発信は600回以上となった。学校通信と特進クラス通信により情報が発信できた。 ③中学校訪問を年2回実施。中学生の本校希望者数が昨年比0.03ポイント、一昨年比0.07ポイント上昇した。	A ・引き続き学校からの情報発信の充実努めるとともに、地域と連携した情報の発信を行い、生徒募集に繋げていく。 ・生徒会、部活動等生徒の力を活用し、魅力ある学校説明会を企画する。

学校関係者評価		
実施日	平成27年2月10日	
学校関係者からの意見・要望・評価等		
<ul style="list-style-type: none"> 成績優良者や不振者の割合は、年度により変動があるのが当然であり、数値設定は難しい。数値目標だけを追い求めると、安易な評価を行う危険もある。しかしながら、深谷高校としての目標値を共通認識により設定できると、教育活動の評価が容易になる。時間をかけて考えていただきたい。 協調学習やインターネットを使った新しい教え方により、分かりやすさと同時に授業を受ける楽しさを実感させられる。 大学での実習体験や出前授業は、その後の生徒の進路選択に大きな影響を与えている。 		
<ul style="list-style-type: none"> 特進クラスの成果を、教職員にフィードバックしていくシステムが考えられると良い。 特進クラスでは、生徒の中でより上位の大学を目指すという目標が一致しており、授業を受けやすい。 特進クラスの中で3年間学ぶと成就感がある。 		
<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策やSNS 利用上の注意喚起等、学校で行うべき指導はすべて実践している。 SNS 利用に関しては低年齢化もしており、学校以外の広い取組がなければ大きな成果があらがない。その中でへの対応は大変かもしれないが引き続きの指導をお願いしたい。 生徒会の「いじめ防止生徒会宣言」など、生徒の側からの取組があるのは大変評価できる。 		
<ul style="list-style-type: none"> 部活動を通して、人間的に成長し視野が広がる。周囲への配慮が出来るようになる。 生徒会で活動する中で、大きな充実感があり生徒が成長していくことが分かった。 生徒会活動や部活動を頑張ることが学校の魅力アップに繋がる。市報なども利用してより多くの方に良さを知ってもらふ必要がある。 生徒や先生方の温かさ、明るさ、繋がりなど、守ってきたい校風を大事にしてほしい。 行事その他で頑張ってほしい。それが学校のイメージアップにも繋がる。 		
<ul style="list-style-type: none"> これからも、中学生の主体的な高校選択に参考となる情報提供を心がけてほしい。 学校説明会を参観させていただいたが、教職員や生徒の丁寧で温かい対応に感心した。 在校生が中学生に直接語りかける機会が重要である。 ホームページの毎日更新は大変だが、更新数の増加により閲覧数が増加したことは、大きな成果があったことを示している。 回覧板等の利用も効果がある。 		